

令和6年度北海道大学大学院経済学院 修士課程特別入試〈春季・秋季〉学生募集要項

【注意事項】

新型コロナウイルス感染拡大防止のための北海道大学の行動指針（BCP）に基づき、出願後、試験日や入学者選抜方法に変更が生じる場合があります。

詳細は、本学ホームページ(<https://www.hokudai.ac.jp/>)にてご確認ください。

学院の目的

本学院は、経済学及び経営学に関する高度の教育研究を行うことにより、深い学識、幅広い知識及び豊かな創造力を有する教育者及び研究者、経済社会の発展に有為な高度の専門的知識を有する職業人並びに高度な専門性、幅広い視野及び職業倫理を備えた会計専門職を養成するとともに、経済及び経営の分野における学術の発展に寄与することを目的とする。

アドミッション・ポリシー

博士コース

北海道大学大学院経済学院現代経済経営専攻（博士コース）は、経済・経営分野の深い学識・幅広い視野、そして豊かな創造的能力を有する研究教育者の育成を教育目標とする。そのため入学試験においては、基礎的な学力に加えて、①経済・経営に対する感性、②志望する研究分野・研究課題に関する知識、③基礎的な研究方法の習熟度や分析能力、④思考力・表現力・コミュニケーション能力などの知的能力及び⑤継続的・発展的な教育・研究に耐えうる資質を備えた人材を選抜する。選抜に当たっては、経済・経営研究に対する社会の多様なニーズに応えうる人材の確保を志向する。

なお、入学する学生は、大学においてマクロ・ミクロ経済学、経済思想、経済史、統計学、オペレーションズ・リサーチ、経営学、会計学のうち、受験生自身の専門に深く関連する分野、および、英語について学習していることを期待する。

専修コース

北海道大学大学院経済学院現代経済経営専攻（専修コース）は、経済・経営分野の高度の専門的知識を有し、経済社会の発展に有為の高度専門職業人の育成を教育目標とする。そのため入学試験においては、基礎的な学力に加えて、①経済・経営に対する感性、②志望する研究分野・研究課題に関する知識、③高度専門職業に対する意欲・見識、④思考力・表現力・コミュニケーション能力などの知的能力及び⑤継続的・発展的な教育・研究に耐えうる資質を備えた人材を選抜する。選抜に当たっては、経済・経営分野の高度専門職業人に対する多様なニーズに応えうる人材の確保を志向する。

なお、入学する学生は、大学においてマクロ・ミクロ経済学、経済思想、経済史、統計学、オペレーションズ・リサーチ、経営学、会計学のうち、受験生自身の専門に深く関連する分野、および、英語について学習していることを期待する。

1. 募集人員

博士コース

現代経済経営専攻 若干名

専修コース

現代経済経営専攻

経済政策コース

経営管理(MBA)コース

若干名

2. 出願資格

- (1) 本学経済学部を優秀な成績で令和6年3月卒業見込みの者
- (2) 本学院早期履修制度に基づく早期履修者

3. 出願期間

春季：令和5年5月8日（月）から令和5年5月10日（水）まで

秋季：令和5年10月23日（月）から令和5年10月26日（木）まで

4. 出願手続

志願者は、経済学事務部教務担当から願書等の交付を受け、次の書類等を取揃え同担当に提出すること。

- (1) 入学願書及び受験票・受験照合票（用紙交付）
- (2) 志願理由書（用紙交付）
- (3) 成績証明書

- (4) 検 定 料 30,000 円

①検定料の納付は別添の専用振込み用紙で本学の指定する銀行の指定口座へ納付し、その検定料受付証明書を提出すること。

②検定料受付証明書を銀行等（ゆうちょ銀行含む）の窓口から受取る際には、必ず「受付局日附印」を確認すること。「受付局日附印」が押印されていないと願書は受理しない。

③検定料は、普通為替や現金では受理できないので必ず銀行等（ゆうちょ銀行含む）の窓口で振込みの手続きをすること。

④既納の検定料は以下の場合を除き、返還できない。

- ・ 検定料を払い込んだが出願しなかった場合又は出願が受理されなかった場合
- ・ 検定料を誤って二重に払い込んだ場合

【返還方法の問い合わせ先】経済学事務部教務担当

(011-706-3163, ecokyomu@jimu.hokudai.ac.jp)

- (5) 返信用封筒 2 通 （受験票送付及び合格通知に使用するもので、本学所定の封筒に宛名等を明記し、344 円分の切手を貼付すること。）

- (6) 連絡受信先シール 用紙交付

博士コース

※入学後の指導予定教員もしくは現在の指導教員の推薦を得て（「志願理由書」に推薦理由の記載が必要。）、出願書類を提出する。

専修コース

※入学後の指導予定教員もしくは現在の指導教員の推薦を得て（「志願理由書」に推薦理由の記載が必要。）入学後に予定している研究テーマに最も相応しい専修コースの一つのコースを選んで出願書類を提出する。

5. 入学者選抜方法

面接（口述試験）、学業成績等を総合して可否を決定する。

6. 試験期日

春季：令和5年5月25日（木）

秋季：令和5年11月30日（木）

7. 合格者発表

春季：令和5年6月2日（金）

秋季：令和5年12月8日（金）

北海道大学大学院経済学院ホームページで公表するとともに受験者あてに可否を通知する。
（電話での問い合わせには一切応じない。）

8. 個人情報の取扱いについて

- （1）本学が保有する個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人北海道大学個人情報管理規程」に基づき、保護に万全を期している。
- （2）出願書類に記載されている氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜、②合格者発表、③入学手続き、④入学者選抜方法等における調査・研究及び⑤これらに付随する業務を行うために利用する。
- （3）各種業務での利用にあたっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下、「受託業者」という。）において行うことがある。業務委託にあたり、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、出願書類に記載されている個人情報の全部又は一部が提供される。
- （4）出願書類に記載されている個人情報は、合格者のみ入学後の①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、奨学金申請等）、③授業料等に関する業務を行うために利用する。
- （5）（4）の個人情報のうち、氏名、住所に限って、北大フロンティア基金及び本学関連団体である①北海道大学体育会、②北海道大学経済学部同窓会からの連絡を行うために利用する場合がある。

9. その他

- （1）本学院では、原則として二重学籍を認めていない。
- （2）身体に障害のある場合は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがあるので春季：令和5年4月21日（金）、秋季：令和5年10月20日（金）までに経済学事務部教務担当へ申し出ること。
- （3）入 学 料 282,000 円
- （4）授業料(年額) 535,800 円

(入学時及び在学中に学生納付金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金が適用される。)

- (5) 学院の概要その他詳細については、演習担当教員又は経済学事務部教務担当に問い合わせること。

令和5年3月

グローバル・エコノミスト・プログラムについて

1. グローバル・エコノミスト・プログラムとは

経済学院では、海外3大学とのダブル・ディグリー・プログラムを締結しており、本学及び締結大学に在籍し両方の学位を取得すること可能である。

本制度への参加を希望する場合には「北海道大学大学院経済学院グローバル・エコノミスト・プログラム (GEP)」へのエントリーが必須となる。

2. 対象大学

- ①イエーテボリ大学 (スウェーデン)
- ②国立台湾大学 (台湾)
- ③延世大学 (韓国)

3. 応募基準：以下(1)・(2)の基準を満たすことを原則とする。

(1)修士課程博士コースに在籍していること、もしくは専修コースにおいて修士論文の提出を予定していること。

(2)TOEFL-iBT 79-80 以上, TOEFL-PBT 550 以上, IELTS 6.0 以上, もしくは, TOEIC 公開テスト 730-800 以上のいずれかを取得していること。

なお、イエーテボリ大学への派遣を希望する場合は上記(1)・(2)に加え、下記(3)・(4)を満たすことを条件とする。

(3)学部在学時に、「統計学に関する科目 8 単位以上」もしくは、「統計学に関する科目 4 単位以上+数学系の科目 4 単位以上」を修得していること。

(4)以下の①または②のいずれかを満たすこと。

①学部在学時に 32 単位の経済学系の単位+4 単位の計量経済学（もしくはそれに類するもの）を履修していること。

②数学もしくは工学の学士（ただし、数量的もしくは数学的な志向に基づく）を有すること。

4. 入学後の履修要件

入学後の第1学期に基礎ミクロ経済学, ミクロ経済学特論, 基礎マクロ経済学, マクロ経済学特論, 厚生経済学特論 A, 厚生経済学特論 B, 基礎計量経済学 (理論) および基礎計量経済学 (実習) を履修すること。

経済学事務部教務担当

電話 011-706-3163 (直通)

E-mail ecokyomu@jimu.hokudai.ac.jp